

# わんにゃん通信 3月号

段々と暖かくなり、行楽に行きやすい気候になってきました。

そして暖かくなってきたということはノミやダニも活発になってくる時期です。

今回はマダニから犬、猫だけでなく人にも感染する SFTS のお話です。



## SFTS(重症熱性血小板減少症候群)とは

SFTS ウイルスを保有しているマダニに咬まれることや感染している動物との接触により感染することがあります。

犬や猫だけではなく、人にも感染し、毎年患者を出している感染症です。

マダニの活動が活発になる春から秋にかけて、主に西日本での感染が報告されています。



### 症状



- 元気、食欲低下
- 発熱
- 消化器症状(下痢、嘔吐など)
- 黄疸



- 発熱
- 消化器症状(下痢、嘔吐など)
- 筋肉痛
- 頭痛、神経症状



最悪の場合は死に至ることも…

# 対策

## 一番はマダニに咬まれないようにすること！！

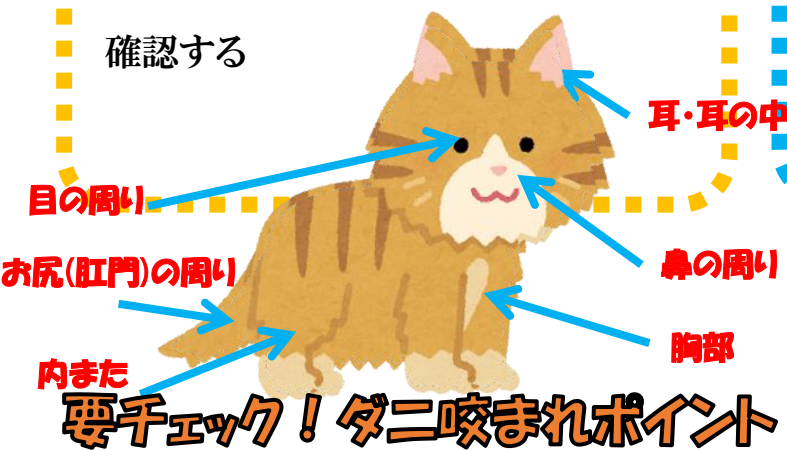


**犬猫**

**ヒト**

- ・マダニ駆除剤を定期的にする
- ・散歩後はマダニに噛まれていないか確認する

- ・山や草むらを散歩するときは**長袖長ズボン**で、特に**首、腕、足**など、**肌の露出**を避ける
- ・散歩後はマダニに噛まれていないかを確認する



見つけても潰すのは絶対に NG！ウイルスが含まれる体液が飛び散ります！！

もしも噛まれた場合は無理にとろうとせず医療機関(動物病院)の診察を受けてください



## 佐々木先生のコラム

**佐々木**

SFTS は診断できない感染症でしたが、割と最近になって PCR 検査により診断できるようになりました！SFTS はイヌよりもネコの方が発生が多く、ネコの致死率は約60%と非常に高いです。こわいですね(\*\_\*;

「こわい病気だけどこのあたりで発生するの？」と思われる人もいるかもしれません。なんと唐津には SFTS ウイルスを持っているダニが潜んでいます。古川動物病院でも過去4年間で12匹のネコを診断していて、死亡したのは8/12頭(死亡率67%)でした。

タチの悪いことにヒトにも感染しますので、マダニがいそうな場所に行った後に上記の症状がみられたら早めに病院を受診しましょう。ちなみに、当院で SFTS と診断した猫のご家族の方や病院のスタッフが SFTS にかかったという話は聞いていません。気を付けていればそうやすやすとかかる病気ではないようですが、知り合いの獣医さんが発症して入院までしたことがあるので、明日は我が身と思っていかねばと思っています(;`д´)